
若きウェルテル君の悩み

kemutei

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

若きウエルテル君の悩み

【Nコード】

N1368F

【作者名】

k e m u t e i

【あらすじ】

ウエルとトーマの二人はふとした事から大量の金が必要とする事となり、ファレンハイム公爵家の跡取娘エルマを誘拐し身代金を取ることを計画する。しかしエルマと知り合ったことは、この二人にとって心労を重ねる日々の始まりとなるのであった。

ブローグ

森の獣たちも寝静まった闇の中に焚火のはぜた音が響く。

その火を挟んで二人の人間が座っていた。

「なあ、本当にやるのか？」

「こんな事やりたくないにきまつてるだろ！ それにやろうって先に言い出したのはウエルじゃないか」

ウエルと呼ばれた黒髪の青年の問いに小柄な金髪の少年が憤慨したように答えた。

「それはそうなんだが。はあ、あの時も少し周りに気を配っていたらなあ」

ため息混じりに青年はつぶやいた。

「今さら言ってもしょうがないよ」

「確かにな」

黒髪の青年はそう短く答えると、地面に伏せていたブロードソードを手にとり、目の前で赤々と燃えている薪に灰をかぶせた。

「さて、嫌な事はとっとと済まそうぜ」

火が消えたか確かめている少年の背にそう声を掛けると、彼はそのままスタスタと歩き出した。

「ちよつ、ちよつと待ってよ」

少年は慌ててその後を追うのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1368f/>

若きウェルテル君の悩み

2011年1月7日02時28分発行